

外国語活動学習指導案

指導者 T1 奥 真理子
T2 ALT Glendy Soriano

- 1 日時 平成 30 年 10 月 23 日 (火) 第 5 校時
- 2 学年 第 5 学年 2 組 (24 名)
- 3 単元名 She can run fast. He can jump high. できること (We Can! 1 Unit5)
- 4 単元について

【単元観】

本単元では、友達や先生のことをもっと知るため、できるかどうかをインタビューして分かったことを書き、校内掲示で紹介することを最終的なゴールに設定した。前半は、まず自分や相手の「できること」「できないこと」について尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しむ。後半は、これまで一人称と二人称のみで思いを伝え合ってきた児童が、三人称の He や She を用いて初めて第三者に対して他者紹介をする。ここで必要な「紹介するために書く」という活動は 5 年生の児童にとって初めての単元になる。

「語句や表現を例文を参考に書くこと」の導入になるので、「聞いて慣れ親しむ→文字を識別して読む→目的をもって書く」という順序性を踏まえ、丁寧に指導する必要がある。

また、この単元では、文字には名称のほかに音があることに気付かせることもねらいとしている。そこで、それぞれの文字で始まる単語の初頭音に意識を向けさせ、文字の音への気付きを促す。



【児童観】

本学級の児童は、1 学期から単元に応じたスモールトークやインタビュー活動を通して、「話すこと〔やり取り〕」に少しずつ慣れてきている。相手の理解を確かめながら話したり、相手が言ったことを共感的に受け止め反応しながら聞いたりできる児童も増えてきた。しかし、「話すこと〔発表〕」に関しては経験が少ない。

「書くこと」においては、ジングルを活用し活字体の大文字や小文字の読み方に慣れ親しませて識別・発音した後、ワークシートに書くことを少しずつ行ってきた。簡単な語句を書き写す活動は前単元で初めて行ったが、読んだ文字を語順を意識しながら書く活動は本単元が初めてである。本学級は、他教科でも書くことに課題がある児童が多く、大文字を書くことについても個人差が大きい。児童の負担を減らし苦手意識をもたせないために、細部を指導するのではなく、コミュニケーションを行うために文字を書くことを意識させる必要がある。



【指導観】

指導に当たっては、まずスモールトークで担任や ALT のできることやできないことをジェスチャー付きで紹介し、おおよその内容を推測させ、単元のゴールイメージをもたせる。そして、「友達や他の先生はどうだろう。知りたいな。」という意欲につなげる。これまでのインタビューは学級内の友達や担任の先生のみで行っていたので、校内でインタビューしたい先生や質問項目を選択し、結果を予想してやり取りすることで意欲が高まるであろう。

単元の前半は「I can (can't) ~.」「Can you ~?」「Yes, I can./ No, I can't.」を使い、一人称と二人称でできることやできないことを伝え合い、後半はスモールトークやデジタル教材を取り入れ、三人称に出合わせていく。校内の先生と「Can you ~?」「Yes, I can./ No, I can't.」を含むやり取り後にインタビュー結果を整理する際、第三者(学級の友達)に紹介するためには He や She を使う必然性が生まれる。このようにして情報を記録したり、発表に向けてまとめたりといった意味ある(目的をもった)活動を仕組み、「話すこと(やり取り)」から「書くこと」につなげていく。

本時においては、スピーチの準備をするにあたり、やり取りしたことをすぐには書くのではなく、まずはイラストを含むカードを並べて読むことで、語を一つのまとまりとして徐々に認識させた後、書くことにつなげていく。この活動を今後も継続することで、児童に英語の文構造への気付きを促す。また、Sounds and Letters では、慣れ親しんだ Animals Jingle の動物名を聞き、その最初のアルファベットの文字に印をつけていくことで、文字には名称のほかに音があることに気付かせていく。

5 単元目標

- 【コ】他者に配慮しながら、自分や第三者についてできることやできないことを紹介し合おうとする。
 【慣】自分や第三者について、できることやできないことを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
 また、伝え合ったことをもとにして例を参考に書き写したり書いたりすることに慣れ親しむ。
 【気】文字には音があることに気付く。

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
①相手を意識して、自分や第三者についてできることやできないことを尋ねたり答えたりし、伝え合おうとしている。 ②他者に配慮しながら、自分や第三者のできることやできないことを紹介し合おうとしている。	①自分や第三者についてできることやできないことを聞いたり言ったりしている。 ②例を参考に、自分や第三者のできることやできないことを書き写したり書いたりしている。	①アルファベットの文字（活字体）の読み方には、名称のほかにも音があることに気付いている。

7 単元ゴール

コミュニケーションの 目的・場面・状況	学級の友達や庄原小学校の先生のことをもっと知るため、できるかどうかをインタビューして分かったことを書き、校内掲示で紹介する。
目指す発話例	I can sing well. Can you sing well? Yes, I can. No, I can't. He can (can't) sing well. She can (can't) ride a unicycle.

8 言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
<u>Can you (sing well)?</u> <u>Yes, I can. No, I can't.</u> How about you? <u>[I/You/He/She] [can/ can't] (sing well).</u> <u>What can you do?</u> Who am I? I'm~. _ <u>Who is he? Who is she?</u> Hello. Excuse me. <u>Do you have time?</u> Do you like ~? Yes, I do. No, I don't. I like ~. O.K. I see. See you. Thank you.	動作 (<u>play the recorder, play the piano, ride a bicycle, ride a unicycle, swim, skate, ski, cook, dance, run, jump, sing</u>) 副詞 (<u>fast, high, well,</u>) <u>can, can't,</u> <u>Mr., Ms., he, she</u> 児童が必要とする「できること」「できないこと」に関する語彙

9 単元計画（全8時間）

時	目標（◆）、主なやり取り等 ・= 誌面化されている活動	評価規準・評価方法
1	◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現を知る。 ・Jingle(Animals) ・Sounds and Letters ★Small Talk (先生のできること・できないこと) ・Let's Watch and Think1 ・Let's Play 1(Animal Quiz①②) ・Let's Chant(Can you sing well?op2) ◎単元終末の活動（単元のゴール）を知り、学習の見通しをもつ。 A (Teacher): Can you run fast? B: (student):Yes, I can. C : (student):No, I can't.	【慣①】 行動観察・発言・振り返りカード分析

8	<p>◆他者に配慮しながら、先生や自分のできることやできないことを紹介し、紹介文を完成させる。</p> <p>◆アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付く。</p> <p>・ Let's Chant ・ Let's Read and Write ・ Activity 5 ・ Make a speech ・ Sounds and Letters(Word search) ・ STORY TIME</p> <p>(Look at this picture.) This is Ms.~. She can~. She can~. But she can't~. I can't~, too. But I can~. I can~. Thank you.</p>	<p>【コ②, 気①】 行動観察・発言・振り返りカード分析</p>
----------	---	---------------------------------------

10 本時の計画

(1) 目標

- ・インタビュー結果を基に、He や She を使って先生のできることやできないことを紹介する文を書く。
- ・アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付く。

(2) 評価規準

- 【慣】インタビューを基に単語カードを並べ、He や She を使って先生のできることやできないことを書いている。
- 【気】文字には名称のほかに音があることに気付き、聞いた単語の最初の文字に印をしている。

(3) 準備物

絵・単語カード、インタビュー（ワーク）シート、先生の写真、ビデオ映像、振り返りカード

(4) 展開

児童の活動	指導者の活動・使用英語例		・留意点 ◎評価規準
	T1	T2(ALT)	
<p>1 挨拶をし、ジングルを言う。</p> <p>・ Jingle with cards ・ Sounds and Letters (5×5Bingo)</p>	<p>○挨拶をする。</p> <p>○動物名の最初のアルファベットを認識させる。</p> <p>○ALTの発音をしっかりと聞き取れるように、「ひそひそビンゴ」にする。</p>	<p>○Greeting</p> <p>○Jingle with cards “A a a ~”</p> <p>○Say animal words slowly and clearly.</p>	<p>【気】 ◎文字には名称のほかに音があることに気付き、聞いた単語の最初の文字に印をしている。〈行動観察・ワークシート〉</p>
<p>Look at the cards and say Jingle. Let's play a Bingo game. Listen carefully and circle the alphabet. Don't say "Bingo!" until it ends.</p>			
<p>2 活動の見通しをもつ。</p>	<p>先生へのインタビュー結果をもとに、He や She を使って紹介文を書こう。</p>		
<p>3 Small Talk</p> <p>① 教師のできること。</p> <p>② 児童同士のできること。</p>	<p>○スモールトークで既習表現・新出表現を含んだやり取りを行い、復習し定着を図る。</p> <p>・ T1 と T2→T1 から児童→児童同士</p>	<p>○Small Talk with T1</p>	<p>① (例) T1: Look! Look at this. What's this? That's right. This is my~. I can cook~well. Can you~? Do you like~? etc. How about you? What can you do? T2: I can ~very well. I like~very much. T1: Oh, I see. You can ~. That's nice. (T1, T2, S のできることやできないことを He, She を使って児童に紹介する) She can ~a little. But she can't~.</p>
<p>② (例) A: Hello. B: Hello. I can make cookies well. How about you? Can you make cookies?(What can you do?) A: No, I can't. (I can~) B: I see. Do you like cookies? A: Yes, I do. B: That's good. I like sweets very much. Thank you. (A and B change.)</p>			

<p>③ 他者紹介</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>③ (例) He can ~a little. And he can ~very well.</p> </div> <p>4 インタビュー結果を整理して書く。</p> <p>① インタビューを振り返る。 (Can you~? What can you do~?を使ってインタビューした様子)</p> <p>② ペアで He/She を使って先生紹介の練習をする。 (メモを参考に写真を見せながら)</p> <p>② インタビューシートを基にカードを並べ (個人), 読む (ペア)。</p> <p>③ カードを見て文を書く。 (早くできたペアは, お互いの文を読み合う)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>★先生の情報を知らない友達とペアになれるように席を移動する。</p> </div> <p>④ 先生の紹介文を読み合い, 分かったことを発表する。</p> <p>(児童の文例)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>He can play games a little.</p> <p>He can't play basketball.</p> </div>	<p>○Small Talk で分かった友達のできることをグループの他の友達に紹介する。</p> <p>○初めて知った友達のこと等を発表させる。</p>		
	<p>Let's watch moving image of your interviews. Did you get this teacher's information? Can she~? She can ~(?).</p>		
	<p>○相手意識をもってスピーチ練習ができていた児童を発表させて評価する。</p>	<p>Let's talk about your introduction each other.</p>	
	<p>Look at your interview sheet. Choose and arrange some cards on this worksheet. And read the sentence with your partner while pointing. Last, watch and copy carefully.</p>		
	<p>○並べたカードを手で押さえながらペアで読み, 文字と音を一致させた後, 書かせる。</p> <p>○語順を意識できるようにワークシートを工夫する。文構造の気付きがあれば取り上げる。</p> <p>○違う先生にインタビューした友達の文を読み合い, 書いた内容が伝わったことを実感させる。</p>	<p>○Support students</p> <p>○Encourage students with praise</p>	<p>【慣】</p> <p>◎インタビューを基に単語カードを並べ, 先生のできることやできないことを書いていく。〈ワークシート・行動観察・発言〉</p>
<p>6 本時の授業を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) ~君は, 声もはっきりとして大きく, 分かりやすいと思った。次の紹介では, 友達に伝わるように発表したい。~先生は, ~ができると知ってびっくりした。今度見てみたいです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) He や She を使って先生のできることやできないことを紹介する文を書くことができた。また, 紹介の順番を考えて練習できた。can や can't は He のあとにくることが分かった。</p> </div>	<p>○活動を評価後, 振り返らせ, 数人に発表させる。(言語面・内容面の振り返りを取り上げる)</p>	<p>(Praise their attitude). Good job. Please write your reflection.</p> <p>○Comment</p> <p>○Greeting</p>	

11 板書計画

Unit5

She can run fast. He can sing well.
 (め) 先生へのインタビュー結果をもとに, He や She を使って紹介文を書こう。

先生にインタビュー (相手に尋ねる)

A: Can you ~?
 B: Yes, I can. / No, I can't.
 A: What can you do?
 B: I can ~well.

↓
 結果を友達に紹介する(写真を見せて)

This is Mr.(Ms.)~.
 He(She) can ~.
 He(She) can't~.

I

男絵
 He

女絵
 She

○
 Can

△
 Can'

動作の
 絵カード

very well
 well
 very fast
 fast
 high
 a little

【単元のゴール】
 友達や先生のことをもっと知るため, できるかどうかをインタビューし, 校内掲示で紹介する。